

施策番号	2406		
施策名	中・大規模の市営住宅団地のマネジメント		
概要	市営住宅において、多様な世代が居住する団地づくりを進めるとともに、子育て施設や高齢者施設等の導入により団地内外の交流やコミュニティの活性化に資する機能の充実を図る。		
担当局・部室	都市計画局・住宅室	共管局・部室	
上位政策	24 住宅		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市住宅マスタープラン		

施策の評価

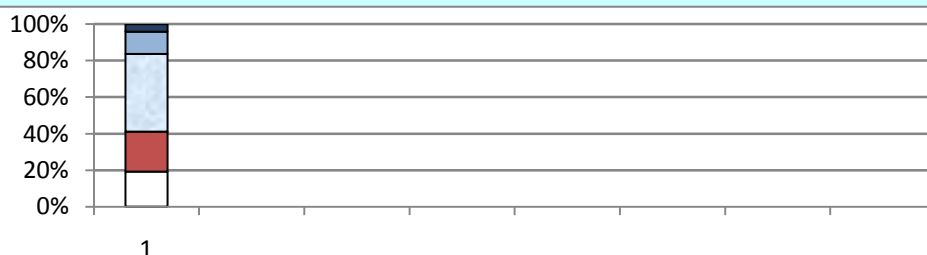
1 客観指標評価

指標名		年度	23年度	24年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	中・大規模の市営住宅のうち地域コミュニティに資する活動の場を有する団地数(団地)	-	d	1	2	4	50.0%	c	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
			d	客観指標総合評価				c	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		24年度回答					有効回答 者数	評価
		そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない		
1	低所得者や高齢者などがくらしやすい市営住宅や民間賃貸住宅が十分に確保されている。	20 4.1%	59 12.2%	206 42.6%	106 21.9%	93 19.2%	484	d
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						d



- そう思う
- どちらかと言おうとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言おうとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている						23 年度	D
	重み付け	☒ 客観指標	c	☐ 市民の実感	d			
(重み付けの理由) 施策の目的は、中・大規模の市営住宅団地での周辺地域とのコミュニティ形成であり、全市民が実感することは困難なことから、客観指標が重視されるべきと考えるため。								
(原因分析) ・市営住宅の建替等を契機として、客観指標の目標値のうち、2件のコミュニティの活性化に資する機能の導入が図られた。 ・当該機能の導入にあたっては、各団地自治会と連携し、各団地の状況やニーズを把握し、団地住民の合意を得て進める必要があり、取組の成果が出るまでにはかなりの時間を要することから、目標値は達成していない。 ・市民生活実感調査結果における市営住宅については、建設から相当の年数が経過し、エレベーター等が設置されていないなどハード面の条件からd評価となったと考えられる。							年度	-

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		23年度 決算額	24年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・京都市市営住宅ストック総合活用計画で定めた各団地の活用方針に基づき、各局区や入居者、周辺住民と連携しながら、周辺地域とのコミュニティ形成に向けて、事業の推進を図る。

施策名	2406	中・大規模の市営住宅団地のマネジメント					
指標名	中・大規模の市営住宅のうち地域コミュニティに資する活動の場を有する団地数（団地）						
担当課	住宅管理課, すまいまちづくり課		連絡先	2 2 2－3 6 3 1, 3 6 3 5			
1 指標の説明							
中・大規模の市営住宅のうち地域コミュニティに資する活動の場を新たに導入した団地数							
2 指標の意味							
市営住宅団地のコミュニティの形成及び活性化の状況を示す指標			3 算出方法・出典等				
			出典等：事業担当課調べ				
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度	
数値	1	2	1団地増	4	京都市住宅マスタープランの目標値52（中・大規模団地数）－16（既導入団地数）＝36（新規導入対象団地数）を各年度で等分して年度計画とする。	50.0%	
	全国順位	中長期目標			備考	中長期目標に対する達成度については、これまでに活動の場を導入した団地の累計で算出（23年度時点の累計：3団地）	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値		36団地（新規導入）	31年度	8.3%			京都市住宅マスタープラン
5 評価基準							
達成度（最新数値／目標値）が a：80%以上 b：60%以上80%未満 c：40%以上60%未満 d：20%以上40%未満 e：20%未満			6 基準説明				
			達成度が80%以上の場合を最高のaとし、以下20%刻みで設定した。				
7 評価結果							
		23	24				
	-	d	c				